

# Chuo Vision 2025

2015年度に創立130周年を迎えた本学は、「中央大学中長期事業計画 Chuo Vision 2025」を策定し、①複数の新学部の新設、②文系学部の一部（法学部）の都心キャンパスへの移転、③グローバル化の推進、④スポーツ振興事業を基本方針として重点的に取り組み、創立140周年までの10年間にこのような改革を推進し、世界に存在感のある大学を目指しています。

初年度は、総合戦略推進会議のもとに4つの（新学部、キャンパス、グローバル戦略、総合学園）構想検討委員会が設置され、各委員会で事業計画の検討が行われています。

## 総合戦略推進会議

新学部  
構想検討委員会

キャンパス整備  
構想検討委員会

グローバル戦略  
構想検討委員会

総合学園  
構想検討委員会

## CHUO Approach

### ◆ 教育組織の改編・創設

◇ 本学は1993年以降、新学部の増設がありませんでした。学部増設により受験生にとって選択肢の多い、魅力ある総合大学にするため複数の学部新設を予定しています。

現在、新学部構想検討委員会の下に検討部会を設け、健康、福祉、スポーツ系学部新設と総合政策学部の改組による新学部の設置に向けた検討を行っています。

### ◆ キャンパス整備

◇ 今後30年の本学の目指すべき施設整備の方向性を考えたうえで、当面の中長期事業計画が対象としている10年間のキャンパスマスタープランを作成しています。

◇ 次年度以降に多摩キャンパスの整備を行うなかで、新学部設置構想やスポーツ振興・強化のための施設の充実や国際寮の拡充などについても検討が行われています。

◇ 後楽園キャンパスの整備については、建築規制の緩和が必要となるため、それに向けた諸課題の解決に取り組む、着実に進めています。

### ◆ グローバル戦略

◇ 世界を視野に置くうえで欠かせない重点項目「グローバル化の推進」においては、グローバル・プロフェッショナルの育成、学生の海外派遣および留学生受け入れの拡大、教職員の国際化を柱に、国際競争力の強化を図っています。

なかでも第1期事業計画として、グローバル・プロフェッショナルの育成に基づくカリキュラムの構築が進んでおり、2018年度にはすべての科目を英語等で教える「グローバルFLP（ファカルティリンケージ・プログラム Faculty-Linkage Program）」と、韓国の成均館大学と共同して学生に2つの学位を授与する「国際共同学位（ダブル・ディグリー）」が初めて開始される見込みです。

### ◆ スポーツ振興事業

◇ 学生スポーツ選手の育成強化により、実績の向上とスポーツに関する伝統の維持・発展の両面を重視し、大学としてスポーツ振興を図るための独自の施策を展開します。

◇ スポーツ振興・強化推進室が設置され、「オナーズ部門（オリンピック等の選手確保・育成・強化）」と「スポーツ振興部門」を設け、中期的・長期的な強化策の一体的な推進が始まりました。

◇ オリンピック・パラリンピック等で活躍が期待される選手の育成施策の一つとして、強化指定選手への支援（奨学としての支援）を行うこととしました。

具体的には学費相当額の支給や海外遠征等のための強化育成費が支給されます。